

レボ工法のメリット

従来工法との比較

狭い交差点や軟弱地盤地帯といった不利な作業環境にこそ効果を発揮。

その上、工期短縮、コスト削減を実現します。

今まで、作業が不可能といわれた軟弱地盤や小スペースで効果を発揮。工期も大幅に短縮できるため、交通量の多い現場でも速やかな撤収が可能です。もちろんその分、無駄なコストも削減、まさに理想的な工法、それが「REVO(レボ)」です。

◎ 最適 ○ 良好 △ やや不向き × 不向き、コスト高

比較する項目	鋼矢板	ライナープレート	レボ工法 (レボII工法)	レボHGT工法
架空線のある現場への対応	× ケーブル等の移設が必要	○ 架空線があっても施工可能	○ 架空線が5.5m以上なら作業可能	○ 架空線があっても施工可能
立坑サイズ自由度	◎ 立坑のサイズが自由	○ 立坑のサイズが自由	△ 最大口径φ2032 (φ1524)	△ 最大口径φ2590
立坑深さ自由度	◎ 立坑の深さは自由	○ 立坑の深さは自由	○ 立坑の深さは自由	○ 立坑の深さは自由
地盤の支持力	× 軟弱地盤では自沈または根入が長大	○ 軟弱地盤でも施工可能	◎ 軟弱地盤でも施工可能	◎ 軟弱地盤でも施工可能
作業ヤードの大きさ	× 作業ヤードが大きい	○ 作業ヤードが小さい	◎ 作業ヤードが小さい	◎ 作業ヤードが小さい
地下水への対応	○ 薬液注入等での底盤改良	× 地下水位が高いと補助工法が必要	◎ 水中掘削が可能	◎ 水中掘削が可能
工期	△ 比較的長期間にわたって存置される	△ 地盤が悪い場合工期が長い [地下水がない場合○]	○ 工期が短い	○ 工期が短い
コスト	△ 比較的高い	× 補助工法を必要とし、コストが高い [地下水がない場合○]	○ コストが低い	○ コストが低い
施工後の人孔沈下	× 矢板引き抜き時に沈下の問題 [H鋼受桁の場合○]	○ 問題なし	○ 問題なし	○ 問題なし
運搬	× 機材重量が大きい	◎ 4t車で可能	◎ 4t車で可能 (2t車で可能)	△ 20tトレーラー